

# 令和 8 年度香川地方最低賃金審議会

## 第 6 回運営小委員会

### 会 議 次 第

令和 8 年 10 月 23 日 (金) 13:15～  
高松サポート合同庁舎北館 2 階  
香川労働局第 1 会議室

#### 1 開 会

#### 2 議 題

( 1 ) 香川県はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具  
製造業最低賃金ほか 2 特定最低賃金の改正決定の必要性  
の有無について

( 2 ) その他

#### 3 閉 会

# 令和 8 年度香川地方最低賃金審議会

## 第 6 回運営小委員会

### 資 料 目 次

- |        |                                                                                                                      |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 資料№ 1  | 香川県はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具<br>製造業最低賃金ほか 2 特定最低賃金の改正決定の必要性の<br>有無に係る参考人意見陳述者名簿                                        |
| 資料№ 2  | 香川地方最低賃金審議会香川県電子部品・デバイス・電子<br>回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 最低賃金改<br>定に関する使用者意見書<br>アオイ電子株式会社 代表取締役社長 木下 和洋                  |
| 別途配付資料 | 香川県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情<br>報通信機械器具製造業最低賃金改正の必要性の有無に係<br>る意見書<br>全日本電機・電子・情報関連産業労働組合連合会<br>東四国地方協議会香川地域協議会 議長 門 裕介 |

香川県はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具  
製造業最低賃金ほか2特定最低賃金の改正決定の必要性の  
有無に係る参考人意見陳述者名簿

| 件名     | 労使側 | 氏 名   | 現 職                                                    |
|--------|-----|-------|--------------------------------------------------------|
| 機<br>械 | 労   | 中村 亨  | タダノ労働組合 執行委員長<br>JAM四国香川地区協議会 議長                       |
|        | 使   | 村上 康裕 | 株式会社ADSムラカミ 代表取締役                                      |
| 船<br>舶 | 労   | 森 健太郎 | 川崎重工労働組合坂出支部 書記長<br>基幹労連香川県本部 事務局長                     |
|        | 使   | 檜垣 邦彦 | 今治造船株式会社 常勤監査役                                         |
| 電<br>気 | 労   | 門 裕介  | 三菱電機労働組合丸亀支部 執行委員長<br>電機連合東四国地方協議会 兼電機連合<br>香川地域協議会 議長 |
|        | 使   | 木下 和洋 | アオイ電子株式会社 代表取締役社長                                      |



令和8年10月21日

香川地方最低賃金審議会 運営小委員会  
籠池信宏 委員長殿

アオイ電子株式会社  
代表取締役社長 木下 和洋

**香川地方最低賃金審議会香川県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、  
情報通信機械器具製造業 最低賃金改定に関する使用者意見書**

日頃より、雇用の安定や労働環境の改善などに、ご尽力いただいております貴職  
および各側委員ならびに事務局職員の皆さまに敬意を表します。

まず、電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造  
業を取巻く環境ですが、半導体に関しては、AI／データセンター向けのメモリ  
ー、ロジックなど一部製品については異常な盛り上がりを見せる中、民生・産業  
機器向けのアナログ、ディスクリート、センサーなどは大きな成長には至って  
おりません。また、EV車の市況低迷（遅延）により、EV向けのパワー半導体  
には停滞が見られます。WSTS（世界半導体市場統計）によると、2026年の世界半  
導体は、前年比108%増という大きな成長が予想されておりますが、中でもメモ  
リーICが300%増、ロジックICが37～40%と全体を大きくリードし、その他分  
野では3%～10%増の小幅な成長にとどまっています。

要するに一部大手企業への一極集中であって、業界全体が押し上げられる状  
況にはなっておりません。とはいえ、そのほとんどの分野で前年比プラスとなっ  
ており、稼働率も前年を上回っております。

そんな中で、直近の課題を整理すると以下ようになります。

1) 原材料・電気料金等の高騰

原価を大幅に押し上げる要因となっておりますが、これは市場全体に言え  
ることであり、その値上がり率も異常なことから、顧客サイドでの価格転嫁  
への理解も広がってきたところです。100%とは言えないまでも、例えば貴金  
属の市場価格連動性の導入など、この1年で価格転嫁への動きが進んでおり  
ます。

2) 人件費の高騰と人員不足

人件費の高騰も原価を押し上げる要因とはなっておりますが、それ以上に  
人員不足が深刻化しており、受注量、納期を満たせない状況も散見されます。  
これはエンジニア、現業職の双方に共通しており、採用に要する費用の増加  
もさることながら、賃金水準を引き上げることが人材獲得に向けての最低条

件となっております。経営状況如何にかかわらず、人手不足解消のため賃金水準を引き上げることが常態化しております。

このような状況の中で価格競争に打ち勝つためには、業務の効率化、歩留りの向上、品質・納期における信頼の獲得など、モノづくりのプロセス中での対応が必須となっております。このようなことから、賃金水準を引き下げることによって原価を圧縮し、それを原資に不当な廉価販売で市場を拡大しようとする事業者はいないと考えております。

以 上